

表 欧州議会、各会派代表者の主な発言内容

政党名／ 発言者	党派	保有議席数 (注1)	主な発言内容 (注2)
欧州人民党（EPP）グループ／ マンフレート・ウェーバー党首	中道右派・親EU	188	・欧州の民主主義のために、投票を。フォン・デア・ライエン委員長候補は、自身の力は、民主主義の上に成り立っていることを理解している。グリーン・ディールを推進する準備はできている。 ・EPPとしての3つの優先順位は；（1）<u>投票者、鉄鋼、自動車などの従業者、職人、農家の声を聞くこと</u>。フォン・デア・ライエン委員長候補も、政策ガイドラインの第1章にて公正な競争、経済の発展を掲げている。 (2) ウクライナ市民の声を聞き、支援策とEUの防衛を強化すること。（3）不法移民の増加に対する市民の懸念に応えること。 ・EUM市民が求めているものは、民主主義。我々には、オルバーン氏（ハンガリー首相）やルベン氏（フランスの極右政党・国民連合（RN）前党首）、メランション（フランスの極左政党・不服従のフランス（LFI）所属）のようにEUの分断ではなく、話し合いの上の妥協点、<u>解決策を見つける</u>ことが求められている。対外的にも<u>団結し、決意あるEUを示す</u>必要がある。
社会・民主主義進歩連盟（S＆D）グループ／ イラチェ・ガルシア・ベレス党首	中道左派・親EU	136	・有権者の選択、民主主義の力で再編された議会を始動。一部の極右は、争いの絶えない欧州への逆戻りを希望しているが、S&Dは、平和的で民主主義的に選ばれた選挙結果、70年以上をかけて築き上げてきたEUを守るための努力は惜しまない。 ・S＆Dは、多くのEUM市民が貧困、失業、劣悪な住環境の中にいることを指摘しており、今後5年間、格差を是正し、平等な機会提供の実現を支援する。住居担当委員の新設を歓迎。気候変動対策の推進も支援する。 ・ロシアの軍事勢力、環境、移民・難民、異なる意見への攻撃に立ち向かい、EUの価値観、公正な社会主義を実現すべき。
欧州の愛国者（Patriots for Europe）グループ（注3）／ ジョルダン・バルデラ党首	極右・右派	84	・6月の欧州議会選挙の厳しい教訓は無視してはならない。我が党は支持を拡大した一方で、中道派、緑の党は苦戦した。人々は、<u>農家や生活を圧迫する環境政策や競争力が削がれる膨大な政策に反対</u>しており、自身のアイデンティティ、民主主義、国境を守るために投票した。 ・今期の政策で、経済成長、移民対策、人工知能（AI）技術などにリスクが生じている。<u>EU、加盟国、フランスの主権、戦略的自律のため</u>、現政権は今期で終わらせることを呼びかける。我が党としてはフォン・デア・ライエン委員長候補の再任を支持しない。
欧州保守改革（ECR）グループ／ ニコラ・プロカッチーニ党首	右派（一部極右）	78	・ECRは、各国の主権、国益に基づき、<u>発言、行動、投票</u>する。欧州の価値観を擁護する保守派である。EU条約を順守する。 ・フォン・デア・ライエン委員長候補が数日前、再任はEPP、ECRではなく、ティーマーマンス前執行副委員長氏（欧州グリーン・ディール政策総括、気候変動対策担当）などS&Dや緑の党のみならず、大敗したマクロン氏（フランス大統領）の与党連合の中道派によるとしたが、<u>選挙結果を反映していない</u>。ECRは何も反対していないが、フォン・デア・ライエン委員長候補は左派まで救済しようとした。 ・EUM市民は中道右派を支持している。<u>ECRの立場は変わらない</u>。
欧州刷新（Renew）グループ／ バレリ・エイエ リーダー	中道派・親EU	77	・親EUP派で過半を占めるも、この結果に納得していない会派もいる。EUの基本基盤は自由であり、4つの分野でフォン・デア・ライエン委員長候補に実行を求める。 ・（1）EUの価値観である法の支配の順守（オルバーン氏を筆頭に順守しないリーダーがいる）、（2）経済発展のための実行、<u>簡素化・投資・イノベーションの促進</u>、（3）防衛、欧州主権基金の強化、（4）気候変動対策の実行。化石燃料からの脱却、住環境の改善支援、移行期間の市民生活、経済活動の支援、農家の支援、公平な価格、競争環境の実現。 ・多くの課題があるが、過去5年間、協働してきたように、<u>ともに実現していく</u>よう努める。
欧州緑の党・欧州自由同盟（Greens/EFA）グループ／ テリー・ライントケ共同党首	環境左派・親EU	53	・気候中立に向けた取り組み、<u>グリーン・ディール政策の後戻り、迂回、中断は選択肢になく</u>、実行に移さなければならない。 ・産業の気候変動対策には大型の投資が必要である。<u>気候変動対策が産業競争力ではなく、両方を同時に達成</u>しなければならない。<u>環境対策は多くの雇用を創出</u>する。農業従事者のデモに象徴されるように、農家が十分な収入を得られるよう支援し、共通農業政策（CAP）の見直し、同時にEUの農業を気候変動対策に強靱なものにしていかなければならない。 ・EUの価値観、法の支配の順守、基本的人権は譲歩できない。欧州の防衛での分断は、<u>欧州の弱体化を招く</u>。<u>環境対策</u>に関し、フォン・デア・ライエン委員長候補の取り組み、政策ガイドラインは十分ではない。ただ、今、最も重要なのは親EUで過半を維持し、<u>極右が力を持つことを回避すること</u>である。市民の声に応えるべく、ともに責任を果たす。
欧州統一左派・北欧緑左派連盟（Left）グループ／ マノン・オーブリ リーダー	左派・急進左派	46	・フォン・デア・ライエン委員長候補の発言は、市民の現状を軽視している。企業寄りの産業競争力、経済発展の重要性ばかりを述べ、<u>貧困、失業に関しての言及は一切なかった</u>。EUM市民の3人に1人は、経済的な余裕がなく、食事を抜かなければならない。この現状をしっかりと見てほしい。 ・農家、産業界を国際競争にさらし、規制の強化で公共サービスを低下させた<u>現政権の統投の余裕はない</u>。欧州の団結ではなく、極右の台頭を招き、極右と戦わない中、フォン・デア・ライエン委員長候補を支援すべきか。 ・市民は見えないところでの多数派支持工作ではなく、透明性を求めている。我々はこの投票を支援しない。気候変動対策、女性の権利、基本的人権、平和に対する透明性を求め、過去5年間同様、<u>この方向性が見えたものは支持する</u>。 ・Leftはフォン・デア・ライエン委員長候補の<u>再任を承認しない</u>。<u>規制の強化、市場主義ではなく、団結と連帯を支持する</u>。
主権国家の欧州（ESN）グループ（注4）／ エバ・ザヤチコフスカ＝ヘルニク メンバー	極右	25	・現政権は、<u>欧州の経済、農業を破壊した大失敗で</u>、現在も後遺症が残っている。<u>統投は、EUの更なる崩壊を生む</u>。 ・（グリーン・ディール政策、移民法と書かれた紙を破りながら）これがこれまでのグリーン・ディール政策、移民法に対する評価である。 ・左派寄りな考えではなく、<u>自由な主権国家を求める</u>。

（注1）欧州議会の全議席数は、上記8会派に無所属（33議席）を合わせた720議席。

（注2）固有名詞の呼び名は英文発言どおり。かっこ内に説明を補足。

（注3）改選前の「アイデンティティと民主主義（ID）グループ」を実質的に吸収した新会派。

（注4）改選後に組成された新会派。

（出所）欧州議会